

(様式3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月:平成28年3月

1.対象事業	行田市元荒川第10処理分区合流式下水道緊急改善計画				
2.実施主体名称	埼玉県行田市				
3.計画期間	平成22年度～平成25年度				
4.対象事業の進捗状況	計画に基づき、以下の対策を実施した。 ①汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保 平成25年度:遮集幹線の増補管敷設を完了 ②きょう雑物の削減 平成21年度:吐口(6箇所)にスクリーン設置を完了				
5.目標の達成状況と達成の見通し	【改善目標】 ①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並みの汚濁負荷) →分流式下水道並みの汚濁負荷量:BOD放流負荷量 181t/年 ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流回数の半減) →未処理放流回数:186回/年 ③きょう雑物の削減(きょう雑物の流出防止) →設置が必要な6箇所の雨水吐口にスクリーン設置 (北吐口、第一準幹線吐口、旭吐口、第三準幹線吐口、向吐口、忍吐口) 【目標に対する達成状況】				
	改善項目	評価指標	対策前	改善目標	対策後 (事後評価)
	緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%
	①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	202 t/年	181 t/年	174 t/年
	②公衆衛生上の安全確保	年間放流回数	364 回/年	186 回/年	158 回/年
	③きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	0箇所	6箇所	6箇所
	【改善期限までの目標達成の見通し】 目標(汚濁負荷量の削減、公衆衛生上の安全確保、きょう雑物の削減)に関する全ての対策が完了している。				
6.対象事業の整備効果の発現状況等	①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並みの汚濁負荷) →改善目標であるBOD放流負荷量 181 t/年 より少ない 174 t/年 まで削減 ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流回数の半減) →改善目標である未処理放流回数 186 回/年 より少ない 158 回/年 まで削減 ③きょう雑物の削減(きょう雑物の流出防止) →対策が必要な全ての吐口(6箇所)にスクリーンを設置				
7.事業の効率化に関する取り組み状況	SPIRIT21の新技术を採用し、きょう雑物の削減を実施している。				
8.今後の方針	緊急改善事業は対策施設の整備が完了し、目標は達成した。 今後も引き続き、整備した施設の適正な維持管理を行うと共に継続的に水質調査を行い、放流先となる公共用水域の水質保全に努める。				